

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

ぷくみみちゃん

やぎ たみこ 著



ぷくみみちゃんは、かわいい
福の神です。
ぷくいもちゃんと一緒に町中
に幸せをふりまくのですが…。

TAKANOSU LIBRARY

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111

SASUE LIBRARY

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



ねぎのレシピ

瀬尾 幸子 著

具にもなれば薬味にもなり、
いいだしも出る。
料理のコツも掲載。ラクうま
なレシピ集です。

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungo
なかしまぶんげい

明神俳句会

初山河老ゆるがままに老いぬべし 淵脇 護
 花嫁の白き腕や桃の花 迫口 君代
 漁始め白兔の灘を蹴立てゆく 筑前 初市
 九〇の母が手伝う干大根 大堂 早苗
 去年今年厨の鍋はかがやきて 山寄加代子
 眼下にからふる生簀初景色 二階堂妙子
 思ひ出の尽きぬ亡き娘よ年明くる 坂口 静子
 初明り母屋の窓に届きたり 関 佳代美
 初御空岬に白き波の音 二階堂恵子
 橙をしばって食らう赤ナマコ 大堂 正弘

長島短歌会

紅梅と白梅ほころぶ県道沿ひ甘き香りにしばし憩
 へり 中山タマエ
 満開の梅の枝間を行き交ひて春は近かり目白の番
 濱田美代子
 四季咲きの蔓薔薇宙にゆらぎをり支えもたねば冬
 空掃きて 浜畑 松枝
 喜びて食む孫の居て料理せる日毎のわれの幸せに
 して 松元 睦子
 「海征かば水漬く屍」と唄ひしは遠くなりゆき老
 ひて忘れじ 市尾 操
 二羽の鳶高く廻りて巢作りの小枝啜へてわが上を
 舞ふ 岩下 ち江
 立春の光を浴びる裸木の枝それぞれに膨らみを見
 る 岩下 房代

幾十年時を隔てて九十七歳の人はわが名を呼び給
 ひたる 樗平 頼子
 五位鷺のわが行く前に低く飛び馬草の青き田に降
 立ちぬ 米尾 和子
 一世紀経し柱時計の捻子回しカチカチ音す夜の静
 寂に 坂之下典子

創生短歌会

この頃は鳩のつがいが畑に来ずやはりあの後別れ
 たのかも 竹之内重信
 歩くことままならぬ迄働きて友は夢なき世を嘆き
 逝く 村上 義彦
 老ゆるとはかくいたましく腕ほそし平然として我
 はおれども 野村 益信
 長生きを望まずひっそり逝きたしと今宵も二粒の
 薬を飲みぬ 宮元 司
 おはようと猫にあいさつする朝の猫は猫なりの表
 情をなす 石原百合子
 かたわらに支えられたる妻も逝きひとり夕飯を
 猫となごめり 山下 学
 後期高齢運転免許更新す車庫入れに少し戸惑いた
 れど 大塚 洋子

一般作品

「短歌」
 わが顔を鏡にみつつき母にそっくりになった歌
 声までも 中仮屋辰子
 わが妻は息子の帰り待ちわびる吾にもそんな母の
 在りし日 平木 良雄
 夜中なる死んだ人など夢見るや何で見るのか不思
 議な事よ 町田 末則